

くよみ通信

No. 25 2020/12/01

巣箱を3個、 青陵の森に設置

11月5日、定例会では青陵の森のグラウンド側に巣箱を3個、設置しました。

巣箱は10月27日、青陵中等

教育学校の「青陵インパクト」※1の有志のみんなと製作したものです。



※1「青陵インパクト」とは、制作した小学生向けのカードゲーム体験を通して、地域の活動に関心を持つ小学生を増やすことを目指すプロジェクト

↓グラウンド脇の大樹に1個設置



その後、カタクリ畑の坂道の整備作業を行いました。

↓ Before



↑ After. 細い立ち木が目印

石碑の複製を制作 本物より本物っぽい

11月12日、浅野さんを中心に、先日作成した拓本を元に、段ボールと新聞紙・画用紙で、石碑を複製。

あまりの出来栄への良さは、くよみの会の売りになるかも。



段ボールに、濡らした新聞紙と画用紙を貼り込み完成させた。実物以上！

「市民センターコミュニ ケーションあおば」 のパネル完成

11月19日、選んだ写真とコメントを打ち出したシートを貼り込み、大体のレイアウトを作成しました。



2020年12月の活動予定

12/3(木) 定例会 「青陵の森」

- ◆整備活動を行います
- 集合 10:00 青陵中等教育学校
- 会員のみ参加

12/17(木) 定例会 「ミーティング」

- ◆今後の活動計画を相談します。
- 集合 10:00 吉成市民センター
- 会員のみ参加

「いつてみつぺ秋保」と オンライン情報交換会

「いつてみつぺ秋保」秋保地域資源活用委員会との情報交換会が11月28日、吉成市民センターと秋保市民センターをネットで行って、今注目のオンラインで実施されました。年間5種類の、様々なテーマのパンフレットを制作する、先進的な活動をしている秋保のボランティア組織のお話は、参考になりました。



翌26日に、青葉区中央市民センターの間宮先生の協力もあり、完成しました。出来上がった、3枚のパネルと展示する石碑です。



↑初めてのオンライン交流始めに「秋保地域資源活用委員会」の委員長の須藤良博氏から、活動内容の説明があった。平成24年から始まり、会員からのプレゼンを元にテーマを決め、1年かけて取材し制作した秋保のガイドパンフレットが、30種類もある。1回で、8,000~1万部も印刷。

